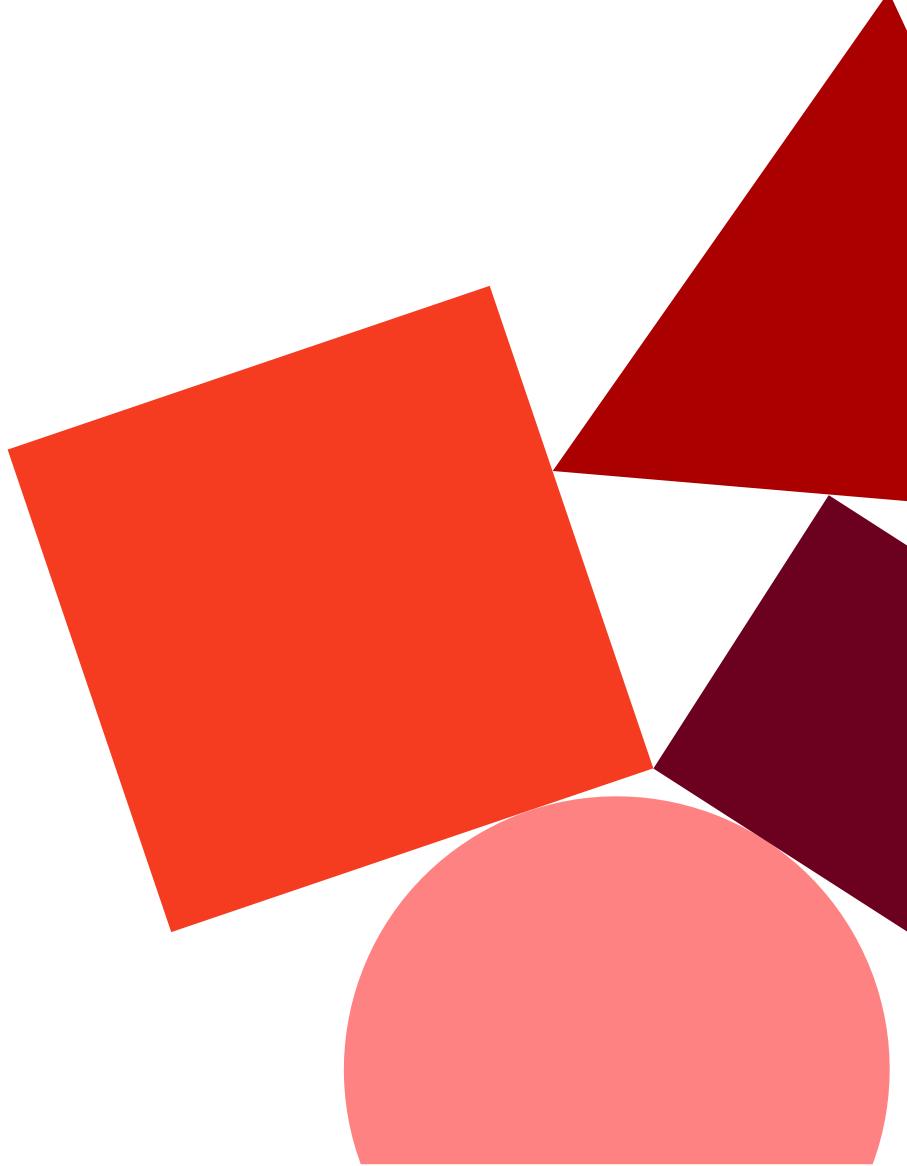




よりよく、寄り添う 販売管理クラウド

外部システム連携機能 設定手順書



株式会社ラクス「楽楽販売」担当
サポート受付時間 平日9:30~17:00

Confidential

2025/02

1. はじめに
2. DB設定権限／システム連携権限設定
3. システム連携設定
4. メニュー設定
5. システム連携実行
6. 状況確認
7. DB設定権限設定
8. 自動処理設定(http送信パーツ設定)
9. メニュー設定
10. 自動処理実行
11. 状況確認

1. はじめに



■本マニュアルについて

本マニュアルは、外部システムのAPIを使用してAPI連携(※1)する場合の設定方法をまとめたものとなります。

※本機能をご利用いただくためにはオプション申し込み(有償)が必要となります。

(※1)本システムから外部システムに対してデータ連携を行うことができます。

本システムのレコード情報をCSVデータで送る方法と、

本システムのレコード情報を使ってAPI実行する方法がございます。



- ・○○○API
- ・▼▼▼API
- ・□□□API

1. はじめに



大まかな説明の流れは下記の通りとなります。

設定の流れ

作業実行の流れ

本システムのレコード情報をCSVデータで送る場合の流れ

2. DB設定権限／システム連携権限設定 …5P

システム連携の設定を行うユーザーに「DB設定」「システム連携」権限を付与する方法を説明します。

3. システム連携設定 …6P

システム連携に必要な情報(連携先URLなど)を設定する方法を説明します。

4. メニュー設定 …7P

メニュー(レコード一覧タイプ)へ、「3. システム連携設定」を適用する方法を説明します。

5. システム連携実行 …8P

システム連携実行以降の流れを説明します。

6. 状況確認 …10P

システム連携の実行状況、実行結果を確認する方法を説明します。

本システムのレコード情報を使ってAPI実行する場合の流れ

7. DB設定権限設定 …12P

システム連携の設定を行うユーザーに「DB設定」「システム連携」権限を付与する方法を説明します。

8. 自動処理設定(http送信パート設定) …13P

システム連携に必要な情報(連携先URLなど)を設定する方法を説明します。

9. メニュー設定 …16P

メニュー(レコード一覧タイプ)へ、「3. システム連携設定」を適用する方法を説明します。

10. 自動処理実行 …17P

自動処理実行以降の流れを説明します。

11. 状況確認 …18P

http送信パートの実行状況、実行結果を確認する方法を説明します。

2. DB設定権限／システム連携権限設定



これから本システムのレコード情報をCSVデータで送る場合の設定方法をご案内します。

システム連携設定を行うユーザーに、「DB設定」「システム連携」権限を付与します。

特定ユーザーのみに権限を付与することで、設定担当者を限定することができます。

※システム連携の「実行」のみを行うユーザーには、上記権限は不要です。

設定方法

設定個所: 管理者設定>>権限設定>>全体権限一覧

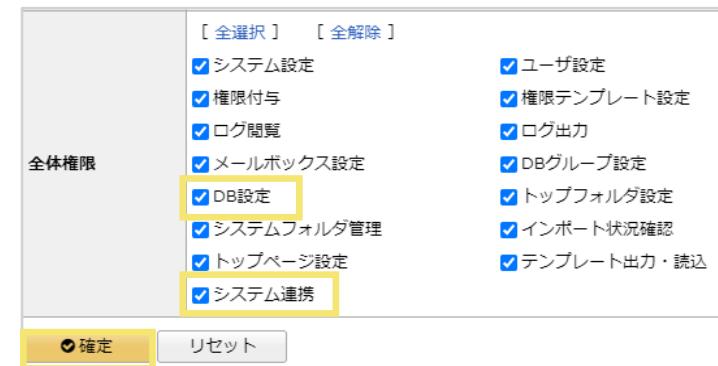
①右上の[管理者設定]ボタンをクリック後、
権限設定タブ内の[全体権限一覧]ボタンをクリックします。



②対象のユーザ名をクリックします。

氏名	システム設定	ユーザ設定	権限付与	権限テンプレート設定
働く太郎	✓	✓	✓	✓
働く次郎	✓	✓	✓	✓

③「DB設定」「システム連携」を選択し、[確定]ボタンをクリックします。



3. システム連携設定



システム連携に必要な情報(連携先のURLなど)を設定します。

設定方法

設定個所:DB設定>>システム連携>>システム連携設定

①[システム連携設定]ボタンをクリックします。

②[新規追加]ボタンをクリックします。

③必要な情報を設定し、[確定]ボタンをクリックします。

※詳細は【設定項目説明】をご参照ください。

設定項目説明

名称	説明
システム連携名	レコード一覧画面に表示するシステム連携名を入力します。
URL	連携先となる外部システムのURLを入力します。
HTTPヘッダ	外部システムのAPI仕様に応じてKEY列とVALUE列を入力します。
HTTPボディ形式	「form-data」または「JSON」を選択します。 「JSON」を選択する場合は、「name」も合わせて入力します。
リクエストパラメータ	外部システムのAPI仕様に応じてKEY列とVALUE列を入力します。
連携データのname	連携データの名称を入力します。
連携データのヘッダ	連携データの1行目にヘッダ(項目名)を付けるかを選択します。
連携データの文字コード	連携データの文字コードを選択します。(「SJIS」または「UTF-8」)
レポートメール	システム連携後に本システムよりレポートメールを送信するかを選択します。 ※送信先は、「実行者」または「管理者(本システム側の管理者)」より選択することができます。 ※エラー発生時のレポートメールを送信することもできます。

4. メニュー設定



メニュー(レコード一覧タイプ)へ、『3. システム連携設定』を適用します。

設定方法

設定個所: DB設定>>基本設定>>メニュー設定

①[メニュー設定]ボタンをクリックします。

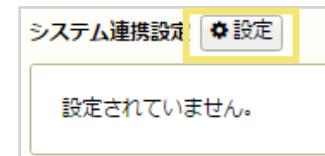


②対象メニューの[設定]ボタンをクリックします。

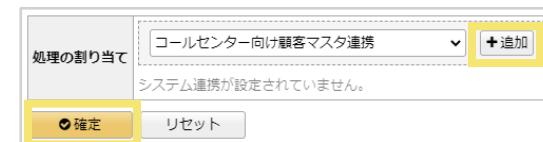
未設定の場合はメニューを追加してから行って下さい。

No.	メニュー名	メニュータイプ	設定
1	【入力】顧客登録	レコード入力タイプ	設定
2	【一覧】顧客リスト	レコード一覧タイプ	設定

③システム連携設定の右横にある[設定]ボタンをクリックします。



④処理を選択し、[追加]ボタンをクリック後、[確定]ボタンをクリックします。



設定に関する説明は以上です。

以降は、システム連携実行以降の流れの説明となります。

5. システム連携実行



以降は、システム連携実行以降の流れの説明となります。
まずはシステム連携を実行します。

実行方法

実行個所: メニュー(レコード一覧タイプ)

①システム連携を行うためのメニュー(レコード一覧タイプ)を選択します。
※『4. メニュー設定』を行ったメニュー(レコード一覧タイプ)を選択してください。



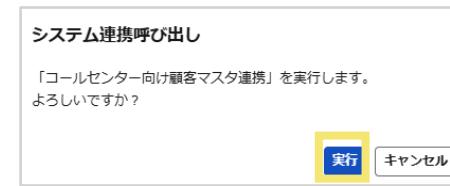
②画面右上の[サブメニュー]ボタンをクリックします。



③システム連携名をクリックします。

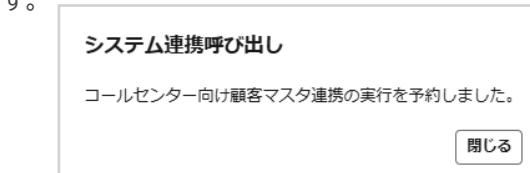


④[実行]ボタンをクリックします。



⑤外部システムに対して、本システムのレコード情報がCSVデータで連携されます。

※連携対象は、絞り込みや詳細検索などを用いて抽出された全レコードになります。



5. システム連携実行



補足

連携可能なCSVデータについて

■容量について

レコード一覧画面からCSV出力したファイル容量が
下記以内に収まる場合のみシステム連携が可能となります。
※いずれか一方でも超えると、エラーとなりますのでご注意ください。

項目	上限値
件名	10,000件
サイズ	3MB

■項目名・項目の並び順について

外部システムで取り込み可能な項目順が指定されている場合は、表示順を合わせてからシステム連携を実行してください。

※表示順を合わせたシステム連携専用のメニューを用意しておくことを
お勧めいたします。

6. 状況確認

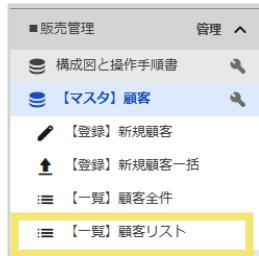


システム連携の実行状況、実行結果を確認します。

確認方法

確認箇所: メニュー(レコード一覧タイプ)

①システム連携を行ったメニュー(レコード一覧タイプ)を選択します。



②画面右上の[サブメニュー]ボタンをクリックします。



③[システム連携状況確認]ボタンをクリックします。



④システム連携状況確認画面が表示されます。

※詳細は、【表示内容説明】をご参照ください。

■請求管理 (月額課金) > 請求管理DB									
レコード一覧画面へ移動									
表示件数 50 < < > >									
実行日時	状況	結果	件数 (成功/全体)	詳細	対象DB	システム連携名	レポートファイル	実行者	
2025/10/01 16:32	完了	成功	1/1	参照	■請求管理 (月額課金) ; 請求管…	(楽楽明細連携) 請求書発行	レポートファイル.csv	楽楽一郎	
2025/09/03 16:58	完了	失敗	0/17	参照	■請求管理 (月額課金) ; 請求管…	(楽楽明細連携) 請求書発行	レポートファイル.csv	楽楽一郎	

6. 状況確認



【表示内容説明】

実行結果		件数(成功／失敗)	詳細	対象DB	操作	対象DB	操作	実行者
2025/10/01 16:32	完了	成功	1/1	■請求管理	■請求管理	■請求管理	■請求管理	レポートファイル.csv 楽楽一郎
2025/09/03 16:58	完了	失敗	0/17	■請求管理 (月額課金)	■請求管理 (月額課金)	■請求管理 (月額課金)	■請求管理 (月額課金)	レポートファイル.csv 楽楽一郎

・詳細

実行結果の詳細、また、システム連携実行時に指定した絞り込み、検索条件の内容を確認することができます。

・結果

完了:

外部システム連携処理が完了したことを表します。

失敗:

外部システム連携処理が失敗したことを表します。

強制終了:

外部システム連携処理が何らかの理由で途中で終了したことを表します。

詳細は「実行結果」列の[参照]ボタンよりご確認ください。

・件数(成功／失敗)

「楽楽販売」から連携したレコード数です。
一覧画面上に表示されていないページ送りした先のレコードも対象となります。

本システムのレコード情報をCSVデータで送る場合の手順は以上です。

次ページから、本システムのレコード情報を使ってAPI実行する場合の手順を説明します。

7. DB権限設定



これから本システムのレコード情報をAPI実行する場合の設定方法をご案内します。

システム連携設定を行うユーザーに、「DB設定」権限を付与します。
特定ユーザーのみに権限を付与することで、設定担当者を限定することができます。

※自動処理の「実行」のみを行うユーザーには、上記権限は不要です。

設定方法

設定個所: 管理者設定>>権限設定>>全体権限一覧

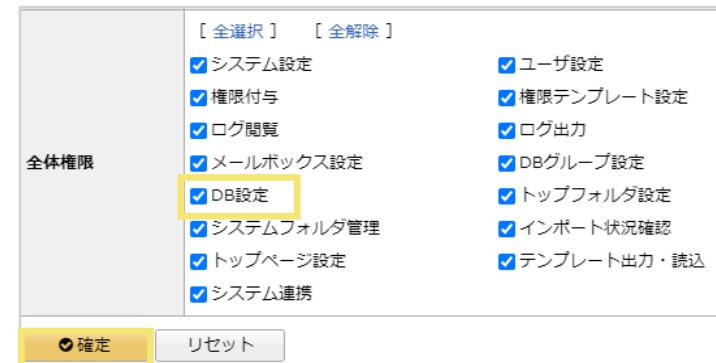
①右上の[管理者設定]ボタンをクリック後、
権限設定タブ内の[全体権限一覧]ボタンをクリックします。



②対象のユーザー名をクリックします。

氏名	システム設定	ユーザ設定	権限付与	権限テンプレート設定
働く太郎		✓	✓	✓
働く次郎		✓	✓	✓

③「DB設定」を選択し、[確定]ボタンをクリックします。



8. 自動処理設定(http送信パート設定)



http送信パートを使った自動処理を作成し、システム連携に必要な情報(連携先URL、パラメータ値など)を設定します。

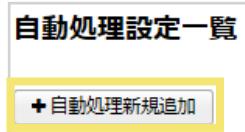
設定方法

設定個所: DB設定>>機能設定>>自動処理設定

①[自動処理設定]ボタンをクリックします。

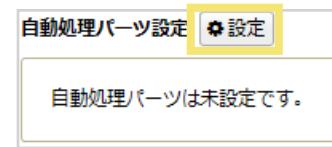


②[自動処理新規追加]ボタンをクリックします。



③自動処理名を入力し[確定]ボタンをクリックします。
※レコード一覧画面に表示されるボタン名になります。

④自動処理パート設定の右横にある[設定]ボタンをクリックします。



⑤[自動処理パートを登録する]ボタンをクリックします。



8. 自動処理設定(http送信パート設定)



⑥「http送信」を選択して、自動処理パート名を入力し、[確定]ボタンをクリックします。

追加パートの選択

http送信

パートの定義
%http送信

パート名 *

コメント

確定 キャンセル

⑦追加されたパートの[詳細設定]ボタンをクリックします。

1 SMS配信

http送信

名前変更 詳細設定
コピー 直前に追加
削除

+ パート登録

⑧必要な情報を設定し、[確定]ボタンをクリックします。

※連携先のシステムに応じて設定してください。

詳細は【設定項目説明】をご参照下さい。

自動処理パート詳細設定 (a)

URL *

メソッド *

HTTPヘッダ

リクエストパラメータ

確定 リセット

8. 自動処理設定(http送信パート設定)



設定項目説明

名称	説明
URL	連携先となる外部システムのURLを入力します。
メソッド	「GET」または「POST」を選びます。 「POST」を選択する場合は、2行下に追加される 「HTTPボディ形式」も合わせて選択します。
HTTPヘッダ	外部システムのAPI仕様に応じてKEY列と VALUE列を入力します。
リクエスト パラメータ	外部システムのAPI仕様に応じてKEY列と VALUE列を入力します。

補足

リクエストパラメータがJSON形式のときのネストについて

http送信パートでは、[複]の項目(明細項目、「レコード検索」パートで複数取得したレコードの項目)によって1段階のみネストすることができます。
2段階のネストはできません。

9. メニュー設定



メニュー(レコード一覧タイプ)へ、『8. 自動処理設定(http送信パート設定)』を適用します。

設定方法

設定個所:DB設定>>基本設定>>メニュー設定

①[メニュー設定]ボタンをクリックします。

【マスタ】顧客：DB設定

基本設定 表示設定 機能設定 システム連携

項目設定
DB項目を設定します。

メニュー設定
一覧／入力／集計／インポートのメニューを設定します。

②対象メニューの[設定]ボタンをクリックします。
未設定の場合はメニューを追加してから行って下さい。

No.	メニュー名	メニュータイプ	設定
1	【入力】顧客登録	レコード入力タイプ	設定
2	【一覧】顧客リスト	レコード一覧タイプ	設定

③処理設定の右横の[設定]ボタンをクリックします。

処理設定 **設定**

設定されていません。

④[処理の追加]ボタンをクリックし、自動処理設定で作成した自動処理名を選択します。

[追加]ボタンをクリック後、最後に[確定]ボタンをクリックします。

+処理の追加

処理名	ボタン	プルダウン	サブメニュー	明細	設定	削除
一括削除 下記の自動処理が実行されます。 一括削除	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ボタンの表示位置 ①項目の先頭と末尾 ②項目の先頭 ③項目の末尾 非表示

ボタンの並び ④横 縦

確定 リセット

設定に関する説明は以上です。

以降は、自動処理実行の流れの説明となります。

10.自動処理実行



以降は、自動処理実行以降の流れの説明となります。
まずはhttp送信パートを含む自動処理を実行します。

実行方法

実行個所:メニュー(レコード一覧タイプ)

- ①自動処理実行用のメニュー(レコード一覧タイプ)を選択します。
※『4. メニュー設定』を行ったメニュー(レコード一覧タイプ)を選択してください。



- ②[処理]列にあるボタン、または左端にチェックを入れプルダウンから自動処理実行します。
外部システムに対して、本システムのレコード情報をを使ったAPI実行が行われます。

表示件数	100件	<	<	>	>	
操作	[処理]	受注処理ステータス	↓管理ID	案件ID	顧客:社名	見出し
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> [システム連携]		E-0000000001	P-0000000019	明細精算株式会社	202
合計 (1件)						

表示件数	100件	<	<	>	>
選択したレコードを <input type="button" value="システム連携"/> <input type="button" value="実行"/>					

11. 状況確認



自動処理の実行状況、実行結果を確認します。

確認方法

確認箇所:管理者設定>>メンテナンス機能>>ログ一覧

① [ログ一覧]ボタンをクリックします。

管理者設定

データ設定 ユーザ設定 権限設定 トップページ設定 システム設定 セキュリティ設定 メンテナンス機能

テンプレート出力
設定をテンプレートファイルとしてダウンロードができます。

テンプレート読み込み
テンプレートファイルの読み込みができます。

システムフォルダ
システムフォルダに保存されたファイルを確認できます。

ログ一覧
操作ログを確認できます。

②操作欄で「自動処理によるHTTP送信」を選んで[検索]ボタンをクリックします。

ログ一覧

操作日時 2021年 11月 21日 0時 0分

作業者 --

DB・フォルダ名

操作 自動処理によるHTTP送信

対象

詳細

検索 CSV出力

③右端にある[参照]ボタンをクリックします。

ルタ名	操作	対象名、またはレコードID	
	自動処理によるHTTP送信	HTTP送信	[参照]

④ログ閲覧画面が表示されます。

※詳細は【表示内容説明】をご参照下さい。

ログ閲覧

日付 2016/11/07 14:38:39
作業者
DB・フォルダ名
操作 自動処理によるHTTP送信
対象名、またはレコードID HTTP送信
接続元IPアドレス
[自動処理名 SMS : 記憶] 詳細情報
URL
メソッド POST
HTTP フォームデータ
ボディ
リンクエラストリマーク
HTTP 200
データ
レスポンス
ヘッダ
ステータス
ボディ

表示内容説明

表示内容説明

日付 2016/11/07 14:38:39
作業者
DB・フォルダ名
操作 自動処理によるHTTP送信
対象名、またはレコードID HTTP送信
接続元IPアドレス
[自動処理名 SMS : 記憶] 詳細情報
URL
メソッド POST
HTTP フォームデータ
ボディ
リンクエラストリマーク
HTTP 200
データ
レスポンス
ヘッダ
ステータス
ボディ

外部システムからの応答で返された
レコードになります。

その他外部システムからの応答内容
になります。

レコード情報をを使ってAPI実行する場合の手順は以上です。
本マニュアルの説明は以上です。